

議 事 要 旨

日時	令和5年1月28日(土) 10時30分～12時00分	場所	森之宮小学校
出席者	森之宮小学校 PTA 約30名		
	城東区役所：大東区長、小川課長、田村課長代理、山本		
議題	森之宮小学校 適正配置について		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・区まちづくり推進の取組と小学校再編整備の検討 ・森之宮小学校「学校配置の適正化にかかる説明会」(R4.9.23開催)議事要旨 ・森之宮小学校「学校配置の適正化にかかる説明会」質問・意見への回答【R5.1.27時点】(R4.9.23～受付分) 		

内 容

【学校配置の適正化にかかる妥当性について】

P①：現在示されている資料は、文部科学省から示された全国的なもので、森之宮小学校における具体的な学校配置の適正化にかかるメリットが示されていない。



区：各校特有のメリット・デメリットについて議論したとしても平行線になるので、一般論として文部科学省の小規模校のメリット・デメリットを示した。

P②：学校配置の適正化は、国の方針である少子化対策に逆行するのではないか。



区：国や大阪市全体の施策については、区長の立場でこの場での回答は控える。

P③：町別人口では令和4年9月末時点で、森之宮1丁目と2丁目を合わせて0歳児が44名となっている。10月から12月まででさらに増えると思われるが、本日の説明資料中にある6年後の令和10年度の小学1年生の人数が18名となっているのはおかしいのではないか。また、単学級とならないことから学校適正化の対象とならないのではないか。



区：児童数の推移については、教育委員会に確認する。仮に数値が変動することになれば、改めて検討する可能性はあるが、すべての学年で2学級である必要があるため、対象校から外れると断言できない。

P④：森之宮小学校の運動場は芝生で広く、少年野球チームが利用しているが、中央区には運動場の広い学校がないため、そのチームには中央区からも参加している人が多い。区外から森之宮小学校に受入する特例校にはできないのか。



区：学校選択制における特例として可能なのか検討するため、教育委員会に確認する。

P⑤：運動会などの行事に参加されていた議員から、森之宮小学校を残したいとの発言があった。公立大学の附属小学校となる話もあると聞いた。そうすれば児童も増える。

：附属小学校となれば受験が必要になり、地域の学校ではなくなる。

：大学の研究のためのモデル校など、森之宮小学校との交流は効果的だと思う。



区：附属化についてはアイデアベースで聞いたことはあるが、真偽については確認する。公立大学とは両小学校(森之宮・中浜)ともコラボしていければと考えている。

【適正配置にかかる検討の進め方について】

P⑥：H29 に森之宮連合町会と森之宮小学校を守る会（以下、「守る会」という。）が提出した要望書に対する区役所の回答として「保護者や地域の皆様に対して、説明を尽くして合意形成を図りながら進めてまいりたい」と記載されている。合意というものは、お互いの意思が一致して成立するもので、一方的に決まるものではない。説明を尽くしたうえで議論が平行線になれば進めるという方針は、これと矛盾するのではないか。前区長との話し合いや合意が、区長が交代したことでなかったことになっている。反対意見が多いので、森之宮小学校を残せないか。



区：令和2年4月に学校活性化条例に適正配置が規定されたことによって、平成29年時点の「合意」の意味は変わっている。従前の回答が全くもって無効という訳ではないが、区役所としては市民の代表により構成される市議会で採決された条例に従って遂行しなければならない。

P⑦：12月のまちづくり検討会議の中で、公立大学の開学に伴いマンション建設の可能性があるという話があったとのことである。そのことにより児童数が増加する可能性がある中、学校の統廃合の判断は拙速である。その影響が出るまで統廃合の実施を延期できないか。



区：まちづくり検討会議の中では、大阪メトロから新駅の設置について言及されていたが、URの建替えの話はなかった。開発がどう進むのか、将来を見通すデータや資料を持ち合わせていないため、児童数の増加の見込みはわからない。

P⑧：児童数の増加について見極められないのに、統廃合の話をすすめていくのはどうかと思う。

【統合後の校地について】

P⑨：中浜小学校地に統合した場合、児童一人当たりの運動場の面積が他校より著しく狭くなる可能性がある。運動場の広さは子どもにとって大事な検討要素だ。



区：中浜小学校の校地では、一人当たりの面積が狭くなることは事実だが、それが受任限度の範囲内かで判断することになる。

P⑩：以前に調べたときは児童増を想定して、増築できるよう設計していると聞いている。説明資料中の「校舎整備（案）」はそれを反映していないのではないか。中浜小学校をいずれ数年後に建て替えるとのことであるが、森之宮小学校にその費用を充てられないのか。



区：教育委員会によると、現校舎の上方に増築することはできないということである。新校舎は運動場校地に建設することになる。中浜小学校建替えは適正配置によるものではなく、老朽化によるものであるため、本日の説明資料には記載していない。建設のための経費は参考までに掲載しているものである。

P⑪：統合した場合、森之宮小学校舎の教室数が足りなくなるとのことだったが、児童数が多いときには1学年3クラスあった頃も問題なく収容できていたのに、なぜ収容できないのか。



区：特別支援学級の増などにより、施設整備の担当からは算定上、教室数が不足するとの回答を得ており、かつてと同数の児童を収容できないとのことである。

P⑫：芝生を守り育ててきたよい学校（森之宮小学校）を付近の商業化に伴い、売り払おうとしているの

ではないか。



区：商業ベースだけで語られることがないまちづくりとなるよう働きかけていく。

【通学路について】

P13：衛門橋については対策が不十分で、保護者や地域が見守りする必要があり、負担が増加する。また、グリーンベルトでは安全性は担保されない。スピードを出して走る車が多い。事故が起きてからでは遅い。



区：衛門橋の対策についてはどんな形がよいか、再検討する。大学には安全対策をしっかりとってもらうようにお願いし、警察など関係各所との調整を進めていく。

P14：説明資料に衛門橋の安全対策について「令和5年度以降」と、決まったことのように記載されており、統廃合が決まったように書かれている。



区：以前の説明会で衛門橋の危険性が指摘されたため、中浜工営所と協議し、その対策案を資料に記載したものであり、統廃合の時期が決定しているということではない。

【要支援児童等への対応について】

P15：配布資料中、「ことばの教室」に関する回答があるが、支援の必要な子ども達を放置しているように見える。



区：「ことばの教室」がなくなるというわけではないが、どちらの校地を利用するかや、開校年度が決まっていないため、具体的に申し上げられない状況ということである。統廃合が決定すれば、新たな設置校で「ことばの教室」の設置についても検討していくものと考えている。

P16：森之宮小学校には外国をルーツとする方が多い。学校から連絡帳での連絡やプリント配布があるが、わからない人にはアプリで翻訳して届けている。地域の人に関わり支えている。



区：学校が統廃合しても、基本的に地域コミュニティはなくなるらない。引き続き地域で支えていただければと思う。

【その他】

P17：PTA説明会の参加者についてどう考えているのか。保護者や地域からの意見を区長から上にあげてもらえないのか。責任者は誰か。



区：パートナーシップをとりながらまちづくりを進めていく方々と捉えている。適正配置については区担当教育次長でもある区長が責任をもって対応することとなっているが、進捗状況は上司である副市長に報告している。

P18：就学前の子どもがいる保護者は説明会に参加できないので、オンラインでも配信してほしい。また、事前に資料を配布してほしい。



区：オンラインについては検討する。資料の事前配布についても極力努める。

P19：周辺環境や少人数制などにより、学力・体力ともに秀でているため、森之宮を選択した。モデル校

として残してほしい。せめて公立大学開学まで待てないのか。

：外国から来日された方から、通学路の安全性、防災面、学校教育のケアが手厚い、広々したグラウンドなどがよいことから森之宮を選択したことを伝えてほしいとのことである。



区：森之宮を選択されるということは、地域を中心に学校を作ってこられたことの結果であると思われる。まちづくりについては、区役所として今後とも協力していきたい。また「学校案内」を見て学校選択をされたと思うが、小規模校については学力テストの結果を掲載しないこととなっている。直近の学力テストの状況については学校に問い合わせしてほしい。

P⑳：学校配置の適正化に関する条例が制定されたことや、森之宮小学校が対象であることは、入学者や学校選択制の対象者に案内されていたか。



区：必要に応じて学校から説明がなされていると認識している。